

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2021 年 2 月号 (第 145 号)

発行責任者 佐藤 重松

日本農業遺産～

サツマイモ用落ち葉堆肥苗床づくり

～三芳町 伊東農園



所沢の自然と農業サークル

撮影者 中原幹男氏

ところざわ倶楽部からの報告事項

広報部長 玉上 佳彦

1. 緊急事態宣言が発令され、ところざわ倶楽部の活動が制限されることも考えられます。ところざわ倶楽部としては、活動の可否は、各サークルの判断におまかせしますが、役員会や理事会は、Zoom ミーティングによるオンライン会議を進めております。
2. 広報紙「広場」2月号は都合により、6頁編成で2月5日に発行いたします。
これまでの「戦争と平和！」シリーズを発展的に解消して、3月号から新たな企画として「世界の平和を考える」を予定しております。皆様の積極的なご投稿をお寄せ下さい。
3. 今年度の事業部の活動として、2月18日(木)に『航空公園歴史探索』を「野老澤の歴史をたのしむ会」の協力のもとに、以下の通り開催します。

10:00 西武新宿線 航空公園駅東口 階段下集合

参加希望者は、2月10日までに、以下に電話またはメールにて連絡下さい

担当：栗屋貴夫 電話：090-2746-9840 メール：t-awaya24@jcom.zaq.ne.jp

(詳細はHPに案内を掲載しています)

ところざわ倶楽部主催行事のご案内

チャリティーコンサート

「小澤洋介と三戸素子によるチェロとバイオリンの調べ」

日時：4月19日(月) 14時より

会場：新所沢公民館ホール

(詳細は後日報告します)

日本農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」支援

落ち葉掃き報告

私たちが暮らす武蔵野台地は火山灰土に厚く覆われ作物の育ち難い土地でしたが、約360年にわたって雑木林で落ち葉を集めて堆肥にし、畑に入れ続けて豊かな土壌となりました。落ち葉堆肥農法は今も受け継がれて三富新田に見られる景観となり、生物多様性が守られています。このことが評価され、川崎市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の農家・JA等で構成する協議会が申請した「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が、平成29年3月、日本農業遺産に登録されました。

当サークルは、陽子ファームと、三芳町の伊東農園（江戸屋 弘東園）の落ち葉掃きに積極的に協力しています。「循環型農業の継承と里山の保全再生活動」の一環として取り組んできた本活動は、今年で11年目となりました。



事前準備として、陽子ファームは12月17日に、伊東農園は1月15日に、熊手で掻く際邪魔になる枯れ枝を拾い集めました。枯れ枝も立派な資源で、伊東農園では燃やして灰を畑に播き、サツマイモの肥料として役立っています。

陽子ファームの落ち葉掃きは1月9日に行ないました。毎年主催している市の農業振興課がコロナ禍のために後援になり、当サークルが主催する事になりましたが、10人ほどの初体験者を含め9団体58名の参加がありました。



所沢の自然と農業サークル

文：松崎 晃

写真：佐藤 三夫



当日はあいにく寒い日でしたが、まず焚火で体を温め、ラジオ体操で体をほぐしてから作業。12月から雨が殆ど降っていなかったため、熊手で落ち葉を掃くたびにみな頭から土埃を浴びました。手際よく作業をして昼には終わり、陽子ファームさん手作りの弁当を林の中で美味しくいただき解散しました。



伊東農園には1月23日に6団体50人と埼玉森林サポーターズクラブの10人が参加しました。前日の天気予報では「9時から雨、午後は雪」。集合時には小雨が降り出し、簡単な説明のみでセレモニーはなし。入口で傘を差した可愛いお孫さんの出迎えを受け、数百メートルはある畑を通って林に入り作業に取り掛かりました。雨で濡れたので埃がたたないのは良かったのですが、水を吸って重くなりきつい作業になりました。徐々に雨が強くなり、全部は終わらないのではと思われましたが昼前に落ち葉掃きを終え、朝出迎えてくれた伊東さんのお孫さんから弁当とミカンをいただき帰路につきました。



両農園さんからは、コロナ禍の中良くこの人数が集まって落葉掃きが完了したことに大変感謝しますとのこと言葉をいただきました。

当協議会は「世界農業遺産」への登録を目指しており、昨年10月に世界農業遺産専門会議の委員が調査に訪れ、落ち葉堆肥農法が多様な作物の栽培や、平地林の保存、希少種の維持・保存に役立っている事などの説明を受けています。この2月には登録されるか結論が出ます。所沢市民、落ち葉掃きに参加している者として登録を切望しています。



環境問題シリーズ
第 5 章

山宇農園ソーラー発電所その後

～ 1 年後の報告 ～

地球環境サークル 中原 幹男



市民大学修了生が大きくかわり、市民大学での学びが形となったのが、山宇農園ソーラー発電所です。2019 年 12 月 1 日に発電を開始。まる 1 年が経過し順調に発電を続けています。この 1 年で発電した量は 39,000kWh でした。これを CO₂ に換算すると 18 トンになります。つまり火力発電所の代わりに CO₂ 18 トンを削減したことになります。

山宇農園主山崎氏とは、市民大学 22 期農業グループワークチームで、講師の東京農工大淵野名誉教授と農家訪問したのがかわりの始まりです。

山崎氏は、江戸時代三富新田開発以来代々つづく専業農家で、旧来の品種から新しい品種まで野菜栽培を手掛け、地元の直販所やスーパーなどに卸しています。

山宇農園の一部 600 m²の 3m 上空にソーラーパネルを太陽光が差し込むように張り巡らしており、栽培物（やまわさび、キクイモ）育成に十分な光量が確保できています。（名称：ソーラーシェリング式）

この発電所建設は、ところざわ倶楽部サークル会員 6 名が核となって設立した一般社団法人所沢市民ソーラーが手掛け、その 6 名の他に倶楽部サークル会員 7 名が建設資金を提供しています。

発電が順調に続けば、10 年で資金償還。およそ 15 年後には全資金が回収できる見込みです。無事回収が完了した暁には、山宇農園に無償で譲渡できると考えています。

（一般社団法人）所沢市民ソーラーは、所沢市におけるソーラー発電普及を目指して活動しています。

みなさまの参加とご支援を！



サークル活動報告

語り文作成に
みんなで知恵をしばりました！

民話の会

昨年の3月以降ボランティア活動中止となりました。定例会開催もいつになるのかなと思いつつ、「自粛生活の中での活動として新しい語り文を作ろうよ」との意見が出ました。メール中心に、何度も意見交換を行いながら「たたき台」が出来上がりました。

さてさて、ここから『たにしのやせ我慢』完結までが大変でした。なにしろ素人の集まりですからね。しかし楽しかったですねえ。4か月ぶりの定例会時に発表し、大筋を決めました。

「子どもたちは「たにし」を見たことないのでは？」
「我々は、小さい頃に田んぼで見たよ。食べたことあるよ」「所沢には田んぼがないよ！」「お伊勢参りなど飛躍しすぎるよ！所沢市内の神社巡りにしたら」いろいろな意見がありました。それでは決めましょう「珍道中のお伊勢参りにしましょう。たにしの写真を見せて説明しましょう。たにしとタヌキのお面も作りましょう。」と、相成りまして、半年か

けて『たにしのやせ我慢』が出来上がりました。

仲山 富夫



定例会で新作『たにしのやせ我慢』の語りを繰り返し練習しました。玉上佳彦広報部長も私たちの練習風景をご覧になり意見をいただきました。「台本をめくる音が気になった」と言う事でした。私たちも1枚めくるごとに手こずって語りが止まってしまう事があつたので早速改善策を考えました。A4判二つ折りの冊子型に作ってみました。

その結果、厚みが出来てめくりやすく、手に収まりも良く、悩みは解消。自粛生活が長びく中メンバー全員分を丁寧に心を込めて作ることが出来ました。

「さあ、楽しんで語りましょう」 薄井 文子

コロナ禍
定例会は会員の安否確認に！

所沢シニア世代地域デビュー支援の会

毎月、定例会を開催しています。コロナ禍における定例会は、会員の近況報告が中心で、相互の安否の確認の場となっています。

報告しあう話題は様々で、毎週、感染のリスクをかいぐり他県の実家の親の介護を続けているという報告や身内の入院の見舞いや葬儀に参列ができなかった話、家族そろってにぎやかに迎えるはずの正月が老夫婦のみで過ごしたとか、故郷の実家から帰省をことわられたという話しなど、厳しい人間模様の現実が展開されます。

定例会の開催には消極的な意見が多くありましたが回数を重ねるうちに、日常の引きこもりの解放感から何でも話し合える「場」へと変わってきました。本会は、定年後のシニア世代の社会参加を支援する会ですが、本来の活動が全くできておりません。一日も早いコロナ収束を願っております。

こうした中で、2月17日～2月19日、所沢市民活動支援センター主催の「2021年所沢市民活動見本市」が所沢市役所1階市民ホールで開催されます。これは、市内で活動する市民活動団体の紹介のイベントで、本会もパネルを展示しますので、ぜひお立ち寄りください。

コロナ禍にあつて、昨年の11月、所沢シニア世代のチアダンスの取り組みを紹介する「栗原香菜さん&その仲間たち」というイベントが、さいたま市立大久保東公民館で開催されました。浦和市のシニア世代の生涯学習の講座で、本会の活動の紹介とチアダンスの実演で参加しました。 田口 元也



（交流の様子）

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

2月12日(金)の及川先生講義(万葉集③)及び例会、並びに3月計画のバス旅行はコロナ対策の為 中止します。

注：3月以降の講座、及び例会は木曜日13時からとなります。

3月11日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義(万葉集③)、15:40～16:40 例会を予定します。

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

2月24日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会

テーマ：「世界とアジアのコロナ感染状況を考える」
フリーディスカッション

3月17日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：未定

3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

2月24日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター101 定例会
「超高齢社会について考える」ビデオ視聴と意見交換

※感染状況により中止もあります。

3月24日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

2月9日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室

「リクエスト曲 特集!!」

3月9日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室
「題目未定」

楽しい音楽をご一緒に!!

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

2月16日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室) 定例会

※発酵食品についての講演会は、緊急事態宣言中につき中止

3月16日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室) ミニ講演・化粧品についての勉強会

3月30日(火) 飯能市「OH!!!発酵、健康、食の魔法!!!」見学予定

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

2月16日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室

定例会 ①討論会「サークル活動宣言」第2回 ②持寄り情報 他

※コロナの状況により中止とします。

3月16日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会 ②持寄り情報、他

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 90-9820-5668)

2月10日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室1号

定例会「市民活動支援センター見本市について、ほか」

(SP チアダンス練習日) 見学大歓迎

2月13日(土)13:00～15:00 中央公民館 ホール

2月27日(土)13:00～15:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

2月16日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備

2月20日(土)9:30～12:00 トトロ21号地落ち葉掃き

2月25日(木)13:00～15:00 定例会。新所沢公民館

2月26日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

2月18日(木)9:45 航空公園駅東口集合

10:00～11:30 所沢航空記念公園歴史探索

3月4日(木)13:00～16:00 中央公民館8・9号室

市民大学第26期 地域史グループ発表会

※コロナ感染拡大状況により中止もあります。

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

2月6日(土)10:00～12:00 中央公民館 学習室3号

2月20日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号

※緊急事態宣言延長により2月例会は全て中止します。

3月6日(土)10:00～12:00 中央公民館 学習室3号
「ヘンリー4世」朗読(継続)

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

2月9日(火)10:00～12:30 西新井町会館(中止とします)

洋画「シャレード」(61年)オードリー・ヘップバーン主演

2月23日(火・祭)10:00～12:30 西新井町会館

邦画「鉄道員/ホッパ屋」(11年) 野村萬斎・柴倉奈々等

※緊急事態宣言の継続・感染者の拡大があれば中止となります。

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

3月22日(月)13:30～15:30

こどもと福祉の未来館 多目的室2号

会員による講座「アルツハイマー病、最新の革新的治療プログラム」講師：鶴野沢実豊氏

※新型コロナウイルス感染拡大により2月は中止、3月に延期しました。

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

2月15日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館研修室1号

「総会・今年の計画」会員の自由討議など 定員15名

※緊急事態宣言が2/15以降も延長された場合、中止とします。

3月15日(月) 新所沢東公民館予定 テーマ未定

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

2月26日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館

定例会 『たにしのやせ我慢』を録画(日程未定)に向けて、読み合わせを行います。

3月19日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館

定例会

理事会報告

2021年1月18日理事会を開催しました。

市民大学27期は、緊急事態宣言を受けてGW活動が中止に。発表会も延期となった模様。そのためまとまっての入会勧誘ができなくなり、企画委員や個人的なつながりか、サークル行事に参加を働きかけるなど、勧誘の工夫をお願いします。

・倶楽部行事として、4/19にチャリティコンサートを開催。ほかは、

屋外行事をサークルと共同で開催する。

2/18 歴史を楽しむ会「航空公園歴史探索」。5月と秋 民話サークル「民話由来地めぐり」。文芸講座、時局講演会はコロナの状況を見ながら開催を探る。退会者現状16名 通年比特に増えてはいません。入会者8名。会費は3月までサークル経由の集金継続。以降振替票送付

次回理事会 2月8日10:00～Zoomでオンライン開催

みんなの広場 第29回

活きいきシニア福祉の会
井上 時義



「補聴器で聞こえを取り戻す」

コロナの影響でマスク越しに話しをする事が多くなり、今までも言葉が聞き取れない事は多々あったが、小さな声、こもった声、活舌の悪い声、早口の声が聞こえない頻度が増えてきた。

聞き取れない為「何」と聞き返すが聞き取れない、再度「何」と聞き返すがまだ分からない。3回目になると聞き返す事が躊躇され、適当に「そうなの」とか「うんうん」と分かったふりをする。別れた後で今の話は何だったのだろうと不安になる。

以前から気にはしていたがストレスをため込まない為、相手に迷惑をかけない為にも補聴器の使用を考える事にした。

耳掛け式の補聴器を3週間使用した結果、耳掛け式はマスク取り外し時一緒に外れる為耳穴式にし、電池式は電池の消耗が早い為充電式にした。

補聴器の音量を標準、混雑、ミーティングの3段階に調整して貰い現在使用中。

まだ満足の出来る状況ではないが装着前と比べると大分聞こえがよくなった。シルバーの仕事で病院の夜間受付のバイトをしているが聞き返す頻度が少なくなって非常に助かっている。お年寄りのぼそぼそと話される言葉が聞き取れるようになるのが希望であるが、半年くらいかけて使用者の状態に合わせて聞こえの調整をして行くとの事なので楽しみである。

梅田をばバイデンと読み得意顔
医者通いカルテの厚さ浮気せず
負け戦さ現実知らぬ大本営
川柳は羽ばたけるもの心だけ
先をいく無言で食べる恵方巻
へび二匹金運運ぶ夢の先

りんご好き 庵閑子
どうし 縄文人
鼻・鬚 突拍子
突拍子 海さとし
りんご好き

次回（第60回）課題「夕飯」そして「自由題」

締切り日：2月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

川柳「五十九」 作品発表 選 中島肇生

課題「家庭」

五十年老けた相手は私の顔
祝杯は息子から来た大吟醸
父と娘はタオルのことで小競り合い
家庭には振り向きもせずもう定年
やっと来た育てた子供親になる
テレワークパパのいる日は家庭的

「自由題」

りんご好き 庵閑子
どうし 縄文人
鼻・鬚 突拍子
突拍子 海さとし
りんご好き

むさし野俳句会（令和三年二月）作品抄

冬耕や焼お結びの仄温し	佐藤 八郎	初詣小さき宮の文化財	宮本 信生
初場所や新大関の眉ひかる	白神 恵子	初日の出光の道を湖にひく	荒幡 千鶴子
窓一寸開けて車中の囁かな	高梨 千代	ちちははの墓誌の齢や寒椿	井出 昇
迂回して雪の富士見る朝かな	高橋三加子	探梅の香の芳はしき九十九折	海老澤愛之助
去年今年外出自粛つらぬけり	利根川啓一	小寒や飛行機雲のちぎれ飛ぶ	小林 貞夫
吹かれきしもの閉じこめて川凍る	中嶋 弘子	田舎より豆たつぷりの寒の餅	小林 典子
六地藏一つ笠なく六花	橋本 佑子	蠟梅のこの有難き匂ひかな	鈴木 征子
風邪の子のフェースガードに	平栗 彰子		

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に「照会下さい」。

連絡先 小林 2996-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

《編集後記》

コロナ禍はワクチンは近々の様子、完全な治療薬は見つからず一年が経ちました。今年に入っても、衰えるどころか変異して、益々手ごわい相手になって来たようです。

今年丑年は十二支の2番目で芽吹きを迎えようとする年とかで、なんと陰陽五行説では、誕生・創造などのイメージなのだそうです。

そう憂鬱な気分ではダメ!!と気持を変えて新しい年に期待をかけましょう。いづれきっと春は来る。その時は、ウィルスともうまく共存が叶っていることでしょう。

今度こそ、地球を大切に、命を大切にを大義の新しい世界で新しい生活が始まることを願っています。

私たちは、その日まで心身共に元気で持続可能な体作りに励みましょう。「広場」では皆様へ、免疫力を高める様な、希望と安らぎの一助となるよう紙面作りに努めたいと思っています。（小田島 記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)